

INFORMATION

No. 30041

2018年12月21日

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当検査センターにおきましては、皆様のご要望に幅広くお応
えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引
き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

【実施日】 2018年12月18日(火) ご依頼分より

【新規受託項目】

手びき 掲載頁	項目 コード	検査項目	容器	検体量	報告 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)
未掲載	なし (特伝)	マイクロサテライト 不安定性 (MSI) 検査 (リンチ症候群)	ガゼットケース スライドグラス	未染標本 スライド 5~10枚	9~15	2100点 尿・糞便等検査 (34点)	マルチプレッ クスPCR- フラグメント 解析PCR	なし

※検査要項の詳細は裏面をご参照ください。



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

● マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査 (リンチ症候群)

リンチ症候群の補助診断に有用な検査です。

遺伝性大腸癌の中で最も頻度が高いものとしてリンチ症候群が知られています。リンチ症候群は、常染色体優性遺伝形式をとり、ミスマッチ修復遺伝子に病的変異を有しています。ミスマッチ修復遺伝子の作用指標の1つとして、マイクロサテライト不安定性検査が有用です。

遺伝性大腸癌診療ガイドラインではリンチ症候群が疑われる患者に対して、2次スクリーニングにてマイクロサテライト不安定性検査を行うことを推奨しており、リンチ症候群の補助診断として有用な検査です。

▼疾患との関連

リンチ症候群

▼検査要項

検査項目	倫理指针对象 曜日指定 マイクロサテライト不安定性 (MSI) 検査 (リンチ症候群)
項目コード	なし(特殊伝票)
検体量	未染標本スライド 5~10枚
容器	オブジェクトケース・スライドグラス
保存方法	室温保存してください
報告日数	9~15日
検査方法	マルチプレックスPCR-フラグメント解析
基準値	なし
検査実施料	2100点 (「D004-2」悪性腫瘍組織検査「1-チ」)
半断料	34点 (尿・糞便等検査半断料)
備考	重 受付可能日は月~金曜日です。 5種類のマーカー (BAT25、BAT26、NR21、NR24、MONO27) について解析し判定致します。他項目との重複依頼は避けてください。

未染標本スライド材料について

未染標本スライドは、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や、固定時間といった保存状況、保存年数によっては、解析不可能ことがありますので、あらかじめご了承ください。

●留意事項

未染標本スライドは、可能な限り3年以内の採取したサンプルにて作製しご提出ください。特に生検材料は検体が微量であることが多く、パラフィン切片上の組織片自体が量少である場合や、腫瘍細胞が含まれていない可能性がありますので、あらかじめご注意願います。ご提出の際は、ホルマリン固定/パラフィン包埋組織ブロックより厚さ5μmにて連続切片を作製ください。

作製した未染スライドは、HE染色標本により腫瘍細胞が含有されていることを確認のうえ、未染スライドの腫瘍が認められた部位へ裏面から必ずマーキングをお願いします (含有されている腫瘍は50%以上を推奨します)。マーキングされた未染標本スライドはオブジェクトケースに入れ室温保存にてご提出ください。マーキングされていない未染スライドのまま提出されますと、偽陰性など判定結果に影響を及ぼす可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※年内報告可能な最終受付日は、12月17日 (月) です。

年内の最終受付日は12月27日 (木) とさせていただきます。年始は1月4日 (金) より開始いたします。

●参考文献

Buhard O, et al : J Clin Oncol 24 (2) : 241~251, 2006. (検査方法参考文献)

大腸癌研究会: 遺伝性大腸癌診療ガイドライン 2016年版 各論 II リンチ症候群: 40~81, 2016.

(臨床的意義参考文献)